

白山ふるさと文学賞

第二回 白山市ジュニア文芸賞 受賞作品

【島清部門】

小学生高学年作文の部 優秀賞

## 夢に向かって

松任小学校五年

安井 やすい

桃香 ももか

受賞の言葉

白山ふるさと文学賞をいただき、まことにありがとうございます。

私と友達の事を書いた作文で優秀賞がもらえてとてもうれしいです。

これからも友達とはげまし合いながら、夢に向かってがんばっていかうと思います。

私は、ようち園のころから、水泳を習っています。3年生から選手コースに入って、ほとんど毎日泳いでいます。選手コースの中でも同じ学年の3人が、とくに仲良しです。水泳の大会の日や、前の日におたがいははげます手紙を書いていきます。

私たち3人は、同じ夢を持っています。それは、水泳のジュニアオリンピックに出場することです。私たちは、そのために、つらい練習でも、がんばっています。

冬の合宿のときの、200メートル個人メドレーの練習の前に、きつい練習だと思い、1人が泣いてしまいました。はげましているうちに、もう二人も泣いてしまいました。時間になっても泣いている私たちを見て、コーチがプールから上がるように言いました。私はその時、くやしいう気持ちとなさけない気持ちで、もっと泣いてしまいました。すると、一人の友達が、「がんばろう」と言ってくれました。私は、その言葉を聞いて、少し元気になりました。そして、がんばれるような気がしました。私たちは、3人でコーチに「がんばります」と言って、プールに入りました。その日は、3人もがんばって、いい練習が出来たと思います。私はあの日、がんばって良かったなあと思いました。

3人の中で、一番最初にA級になったのは、私でした。私は、すつこくうれしくて、喜んでいたら、二人が来て、「おめでとう」と言ってくれました。私は、うれしかったけど、二人と同じ大会に出れないと思うと、少し不安になりました。でも二人は「私たちが絶対A級になるよ。」と言いました。私はその言葉を信じ、二人を待とうと思いました。

二人がなかなかA級になれなくて、つらそうにしていたので私は、「記録会に出てみたら？」と言いました。二人は、日曜日の朝の練習の後に、記録会に出ました。結果は、一人がA級になり、もう一人は、なれませんでした。うれし泣きとくやし泣きをしている二人を見て私は、どんな言葉をかければいいのか分かりませんでした。その時、コーチが「これが最後じゃないぞ」と言いました。私も「またがんばろう」と言いました。

すると、A級のタイムをきれなかった友達は、「ありがとう、またがんばるわ」と泣きながら言いました。A級のタイムをきることができた友達には、二人で心からおめでとうといいました。

A級タイムをきることができなかった友達は、今年中にA級のタイムをきれなかったら、お父さんが水泳をやめなさいと言ったそうです。それをきいて、私は、心配になって、お母さんに相談しました。おかあさんは、「人それぞれのびる時期がちがうげんよ。」と言いました。私は、それを聞いて、あきらめずにがんばれば、きっとA級タイムをきることができると思いました。私は、友達にそのことを言いました。すると、友達は「自分に自信がない。」と言いました。私ともう一人の友達は、一生けんめいはげますように手紙をあげました。それを読んだ友達から、返事の手紙をもらいました。もう一人の友達と、その手紙を読んでみると、友達は、お父さんにあきらめずに水泳を続けたいと話したそうです。それから、毎日の練習をがんばって、こう、と書いてありました。私は、とてもうれしかったです。

夏休みに入って、私たち3人は、一回も休まずに練習をがんばっています。この前の長水路での練習の時、コーチから「最近3人共がんばるとるなあ」と言われました。私は、「早くなりたいから。」と言いました。その時コーチは笑っていたけど、後で、お母さんから、コーチが「水泳に対する意識が少しずつ変わってきているみたいです。」と言ってたよと教えてもらいました。

去年の北國新聞社杯では、4年生以下の部で、私たち3人はメダルを取ることができました。今年は5・6年生の部なので、ちょっと大変かもしれないけど、私たちは、得意の種目にエントリーしました。私は、200メートル個人メドレーと、100メートルバタフライにエントリーしました。200メートル個人メドレーでは、得意のバタフライとどばして、せ泳ぎ、平泳ぎでねばって、クロールでおい上げようと思えます。2種目とも、自分のベストタイムをこうしんしたいです。それから、

まだ決まっていなくても、リレーのメンバーに入りたいです。今度の練習の後に、クラブ内でタイムトライアルがあるので、がんばって、リレーのメンバーに選ばれたいです。

水泳は、個人種目で、友達とは、ライバルで、つねに、きそい合っています。けれど、いつもいっしょに練習している仲間は、練習のつらさや、大変さがわかるので、はげましあってがんばる事ができます。私は、友達がいってくれるから、がんばれるんだと思いました。

6年生の夏には、北國新聞社杯で優勝して、石川県ナンバー1になりたいです。リレーでは、絶対に、この、メンバーで、ジュニアオリンピッククに出場したいです。これからのつらい練習があっても、仲間といっしょにはげまし合いながら、夢に向かってがんばっていきましょうと思います。

